

不具合のマグネット基台を分解整備した内容を口述 JK1SBK

参考-1 (TWO-FORTY 誌記事抜萃)

「初めて、移動局として電波伝播試験に参加して」

前記部分省略…マグネット基台を車のサンルーフを開いてセットし、その後、アンテナを組み立てアンテナを基台にしっかり取り付け、念のためにN a n o v n aでSWR値を測定した所、共振点が46M付近、SWRは4以上で、普段使っている値からはかけ離れた異常値を示した為、”どうしたんだろう””何で”とパニックの状態に成り、コントロール局の久保田OMに、受信は可能ですが、送信がH i S W Rで出来ない旨、携帯で伝えました。

その後、普段マグネット基台を使っている中で、前から同軸ケーブルのMP部分がちゃんと繋がっているのかなと云う違和感が有ったので、ケーブルの網線とMPコネクタ部分をペンチでカシメて、再度N a n o v n aでSWR値を測定しましたが変わらず、再度コントロール局の久保田OMに連絡し、受信は出来るのですがと伝えた所、受信が出来ているのなら、アースが浮いてるのではないかと云うアドバイスを頂き、マグネット基台からアンテナを外して見た所、基台を止めているナットが弛んで居るのを発見。

不具合の箇所はこれかなと思いながらアンテナを取付、N a n o v n aでSWR値を測定した所、普段使っている値に落ち着きひと安心しました。…後記部分省略

参考-2

講義に使用した、PDF 記事一部

(アンテナの基本「半波長ダイポールアンテナ」)

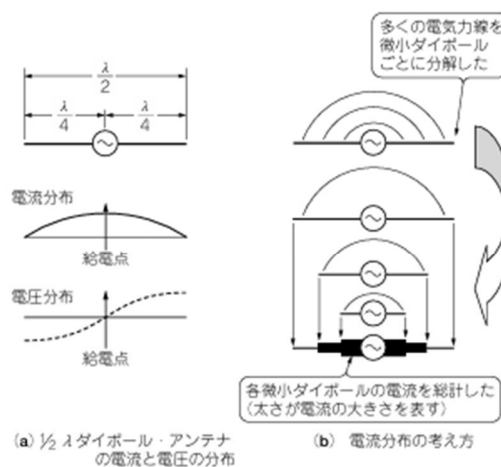


図2-2 半波長ダイポールの電圧・電流分布

参考-3

使った写真

